

平成29年度 施策評価シート（評価対象：H28年度）

【1. 施策名】

施策コード	511-01	基本施策	多様な観光交流の推進	所管部局	商工観光部
施策名	訪れてみたくなる地域づくり			主担当課	観光振興課
				関係部局課	
施策の目標	観光ブランドの確立と滞在型・通年型観光の推進を図るとともに、訪れる人の視点に立った魅力づくりとおもてなしにより、観光客が繰り返し訪れてみたくなる地域づくりを目指します。				

【2. 施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

個人の価値観やライフスタイルの変化により観光客のニーズも多様化し、個人旅行や滞在型・体験型観光の需要が高まるなど、観光を取り巻く環境が大きく変化している。このような中、これらに対応した施策を推進するとともに、何度も本市を訪れてくれるリピーターを獲得することは、大変重要なこととなっている。

また、観光入込客数及び宿泊者数を増やし、滞在時間を延ばすことで、観光消費額を増やして地域経済の活性化を図る必要がある。

【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
市内の年間観光地利用者数	万人	1,005	1,007	1,008	986	1,701	1,109	1,200
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
本市を訪れる観光入込客数	善光寺御開帳の年を除き、年間1,000万人前後を横ばいで推移する観光入込客数を1,200万人まで増やすという前観光振興計画からの目標値を継続する。							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実績					目標値 (H28)
観光消費額	億円	409	431	429	422	726	496	490
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
宿泊費、交通費、土産、買物、食費など本市滞在中に消費した額	観光入込客数と市内宿泊客数を増やすことで地域経済の活性化を図る。							
28年度の取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に存在する様々な観光資源と善光寺を結びつけ、「観光入込客数」や「市内宿泊客数」を増やし、滞在時間を延ばすことで「観光消費額」を増加させ、地域経済の活性化を図るために、全市横断的なキャンペーンを実施 ・NHK大河ドラマ「真田丸」の放送に合わせ、「体感!!戦国の絆 信州松代“真田大博覧会”2016」を開催 ・長野駅善光寺口及び東口に、Wi-Fiのアクセスポイントを整備 							

【4. 総合評価】

総合評価（目標値に対して）	概ね順調	96.8 %
評価の理由・説明等		
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	滞在時間延長を目的として、観光協会や関係団体、地元住民との連携による体験型観光の実施や、善光寺表参道界限でのまち歩きを実施するなど、新規の観光客の獲得はもちろん、リピーターの獲得にも取り組んだ。	
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	前観光振興計画に基づき、近隣市町村や集客プロモーションパートナー都市等と連携した情報発信、誘客事業などに取り組んだ結果、目標値に近づけることができた。	
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	一部に目標を下回る事業もあったが、全体的には「概ね順調」に進んでいる。	

【5. 今後の展開】

課題	課題解決に向けた具体的な取組
短期	<p>全市横断的な観光キャンペーンを展開する中、地域での活動に温度差が見受けられ、観光資源を活かきれていない部分がある。</p> <p>観光協会、観光事業者、地域住民等の協議を十分に行い合意を得た上で、地域の観光資源を活かすことにより地域経済が良い方向に循環していく環境づくりに取り組む。</p>
中長期	<p>今後、観光入込客数だけではなく、市内での宿泊や観光消費による地域への経済波及額により総合的な成果を測定していくこととなるので、目標達成に向け現実的かつ効果的な取組を実施する必要がある。</p> <p>何度も本市を訪れてくれるリピーターを増やすため、観光客が訪れたくなる宣伝活動の展開と、観光客が楽しめる受入環境の整備を進める。また、市内観光地の周遊を促すことで滞在時間を延ばし経済波及額の増加につなげる取組や、本市ならではの「食・お土産」「自然」などを活用した観光客の満足度を高める取組などを検討し実施する。</p>
施策展開の方向性 (H29年度以降)	<p>平成29年度からスタートした新たな長野市観光振興計画に基づき、善光寺界隈・戸隠・松代のそれぞれの地区に地元観光事業者を中心に構成される作業部会を設置し、具体的な観光施策を協議する。これらの取組により、本市の観光資源を磨き上げ、地域資源同士を組み合わせた観光コンテンツ開発を支援し、市内周遊を促す。</p>

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況											
		事務事業の概要						事業の取組実績・成果					
1	新1200万人観光交流推進補助金 [補助金・金銭給付事業] 観光振興課	<p>長野ファン拡大とスローツーリズム実現、滞在型観光の確立を目指すため、テーマ別観光キャンペーンを実施する”ながの「四季の彩り」キャンペーン実行委員会”の活動に補助金を支出する。</p>						<p>観光交流推進プランに基づき、各地域が持つ観光資源の魅力を活かした、テーマ別キャンペーンを全市横断的に実施した。</p>					
		事業の分析結果						年度別事業費（千円） (H29は予算額)					
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29		
		B	A	A	B	A	継続	77,175	70,775	55,880	50,935		
2	松代観光戦略関連補助金 [補助金・金銭給付事業] 観光振興課	<p>松代の観光地としてのブランドを確立するとともに、滞在型観光や再来訪を促す取組や自主的な活動を支援するために補助金を交付する。そのことにより、観光交流人口の増加と地域経済の活性化を図る。</p>						<p>「体感!!戦国の絆 信州松代“真田大博覧会”2016」を開催し、多くの観光客の来場があった。真田大博覧会の開催に際し、関係団体がそれぞれの長所を活かしたコンテンツを用意する等効果的な誘客事業を実施した。</p>					
		事業の分析結果						年度別事業費（千円） (H29は予算額)					
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29		
		A	A	A	A	B	継続	21,625	11,966	10,722	13,645		
3	善光寺表参道誘客対策 [補助金・金銭給付事業] 観光振興課	<p>善光寺表参道界隈の魅力を伝えるボランティアガイドの技術向上と組織体制の確立のために負担金を支出するもの。観光客にまち歩き楽しさを提供し、滞在時間の延長を図る。</p>						<p>御開帳があった平成27年度と比較するとガイド件数が減少しているが、平成26年度と比較すると大幅に増加しており、引続き増加傾向を維持するよう取り組みを促していく。また、告知やPRについて協力を行っていく。</p>					
		事業の分析結果						年度別事業費（千円） (H29は予算額)					
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29		
		A	A	B	B	B	継続	5,387	8,711	7,963	7,729		
4	観光まつり補助金 [補助金・金銭給付事業] 観光振興課	<p>観光客の滞在時間延長、経済波及額の増加、観光地としての知名度向上などを目的として、実行委員会等に補助金を交付する。</p>						<p>補助金交付要領に基づく指導を行いながら、本市の観光地としての魅力の向上、観光誘客、祭り文化の継承などが期待できるものに補助金を交付した。</p>					
		事業の分析結果						年度別事業費（千円） (H29は予算額)					
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H26	H27	H28	H29		
		C	A	A	B	B	継続	41,917	52,242	48,557	48,245		

平成29年度 事務事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

74-1

【1. 事業の概要】

基本施策名	511	多様な観光交流の推進			担当部局	商工観光部
施策名	511-01	訪れてみたくなる地域づくり			担当課	観光振興課
事業番号	7098	事業開始年度	平成	18	年度	作成者（連絡先）
事業名	新1200万人観光交流推進補助金					
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ） 行政主体では、旅行事業者と連携した観光宣伝や各種プロモーション活動が困難である。イヤーキャンペーンに関わった団体等で組織する実行委員会が実施することで、経験を活かし迅速に「地域ブランド化」の創出や強化、観光キャンペーン事業等が効率的に実施できる。					
	誰、何が対象なのか（対象） ながの「四季の彩り」キャンペーン実行委員会（旧イヤー実行委員会、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、善光寺事務局、長野商工会議所、各観光協会ほか）ほか					
	どのような事業を行うのか（概要） 長野ファン拡大とスローツーリズム実現、滞在型観光の確立を目指す。テーマ別観光キャンペーンを実施する、ながの「四季の彩り」キャンペーン実行委員会の活動に補助金を支出する。					
	どのような成果を実現したいのか（成果、効果） 観光入込客数や市内宿泊客数を増やすことで、観光消費額を増加させ地域経済の活性化に資する。					
	根拠法令等					

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	特記事項
年間経費の推移	①事業費 (千円)	66,300	59,795	44,900	40,000	28年度は、通常キャンペーンのほかに妙高・黒姫・戸隠ライナー運行事業負担金を含む。 29年度は、新たに策定された「観光振興計画」推進のため、同じ実行委員会の枠組みの中で事業を進めていく。
	負担金補助及び交付金	66,300	59,795	44,900	40,000	
	②人件費概算 (千円)	10,875	10,980	10,980	10,935	
	正規職員 (人)	1.5	1.5	1.5	1.5	
	嘱託職員 (人)					
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	77,175	70,775	55,880	50,935	
	④特定財源 (千円)	0	0	33,871	0	
	国・県支出金			33,871		
	市債 その他					
⑤市負担額 ③-④ (千円)	77,175	70,775	22,009	50,935		

基本施策名	511	多様な観光交流の推進	整理No.	74-1
施策名	511-01	訪れてみたくなる地域づくり	担当部局	商工観光部
事業名	新1200万人観光交流推進補助金		担当課	観光振興課

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績 (速報値)		29年度見込	
観光入込客数(年度)	千人	目標	12,000	目標	12,000	目標	12,000	目標	10,100
		実績	9,861	実績	17,008	実績	11,091		
観光による地域への経済波及額	億円	目標		目標		目標		目標	759
		実績		実績		実績			
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
B	<p>新1200万人観光交流推進プランに基づき、本市の四季の魅力を情報発信する「四季の彩りキャンペーン」を展開。季節を通じて訪れてもらうための「まち歩き」等の工夫や、リピーター確保を目指し各地域での体験型観光等に取り組んできた。</p> <p>これらの取組みにより予定した事業は実施したが、観光入込客数は目標に届かなかった。一方で、市内宿泊者数及び観光消費額については前年度を上回っており、今後に繋がる成果があったと考える。</p>								
概ね目標どおり									

【4. 事業の検証】

視点		評価	理由
事業の必要性	社会的要請や市民ニーズが高いものであるか	A 高い B あまり高くない C 低い	A 観光客のニーズが変化し、個人旅行や体験型観光が好まれる傾向にある。全国的にも観光旅行が減る中で、体験やスローツーリズムを主とする当事業が必要。
役割の妥当性	市の関与について、見直す余地はあるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	A 長野市観光振興計画「新1200万人観光交流推進プラン」に基づき実施している。
事業の有効性	目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 効果及び効率を十分に検証したうえで、魅力的な事業展開を検討する必要がある。
方法の効率性	更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	A 新1200万人観光交流推進プランに基づく、ながの「四季の彩り」実行委員会が行う観光振興事業の実施に、行政が補助金で支援するのは妥当と考える。

【5. 今後の課題・方針】

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全市横断的な観光キャンペーンを展開する中、地域での活動に温度差が見受けられる。各地域における観光資源の有効活用、開拓等、魅力を活かしていない部分がある。 ・観光客に四季を通じてリピーターとなってもらうため、個性的で魅力的な観光体験メニューの情報発信やまち歩き、善光寺、戸隠及び松代をつなぐ観光コンテンツの強化が必要である。 		
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容	
	継続	<p>観光振興計画「新1200万人観光交流推進プラン(24~28年度)」に基づく観光キャンペーンの実施主体である、ながの「四季の彩り」キャンペーン実行委員会に対し、補助金による支援を継続する。</p> <p>平成29年度からは、新たに策定した「長野市観光振興計画」に基づき本市の観光産業の発展を目指す(事業番号7150「観光振興計画推進事業」において実施)。</p>	

【6. 関連部局との連携・実施状況】

関連部局との連携・実施状況	連携・実施している	関連部局との連携・実施の必要性	必要性あり

平成29年度 事務事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

74-2

【1. 事業の概要】

基本施策名	511	多様な観光交流の推進			担当部局	商工観光部
施策名	511-01	訪れてみたくなる地域づくり			担当課	観光振興課
事業番号	7063	事業開始年度	平成	17	年度	作成者（連絡先）
事業名	松代観光戦略関連補助金					
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ） 平成16年度実施の「エコールド・まつしろ」事業及び平成22年度実施の「松代イヤー」事業による観光誘客・交流事業を継続展開し、松代の観光地としてのブランドを確立するとともに、滞在型観光や何度も訪れてみたくなる観光地にすることによって、観光交流人口の増加、地域経済の活性化を図る必要がある。					
	誰、何が対象なのか（対象） 松代の観光振興事業に関わる地域住民及び団体（「松代住民自治協議会」→平成24年以降「松代観光推進機構」）、NPO法人「夢空間松代のまちと心を育てる会」、「エコールド・まつしろ倶楽部」					
	どのような事業を行うのか（概要） 行政として、事業継続に必要な最低限の経費を補助する。					
	どのような成果を実現したいのか（成果、効果） 地域住民による観光誘客事業への主体的な取り組みを支援し、観光誘客による地域経済の活性化を図る。					
根拠法令等						

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	特記事項
年間経費の推移	①事業費 (千円)	18,000	9,770	9,990	10,000	
	補助金（松代観光戦略）	8,000	6,000	6,000	6,000	
	補助金（松代歴史文化の発信・誘客）	10,000	3,770	3,990	4,000	
	②人件費概算 (千円)	3,625	2,196	732	3,645	
	正規職員 (人)	0.5	0.3	0.1	0.5	
	嘱託職員 (人)					
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	21,625	11,966	10,722	13,645	
	④特定財源 (千円)	4,000	0	0	0	
	国・県支出金	4,000.0				
	市債					
その他						
⑤市負担額 ③-④ (千円)	17,625	11,966	10,722	13,645		

基本施策名	511	多様な観光交流の推進	整理No.	74-2
施策名	511-01	訪れてみたくなる地域づくり	担当部局	商工観光部
事業名	松代観光戦略関連補助金		担当課	観光振興課

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度見込	
松代地区観光地利用客数（年度）	千人	目標	630	目標	630	目標	800	目標	770
		実績	499	実績	776	実績	1,031		
		目標		目標		目標		目標	
		実績		実績		実績			
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
A	平成28年度は大河ドラマ「真田丸」放送に伴い、『体感!!戦国の絆 信州松代“真田大博覧会”2016』を開催した。同企画では、「松代観光推進機構」と「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」、「エコール・ド・まつしろ倶楽部」も参画し、まち中の装飾やまち歩き等の事業、体験コンテンツの提供等を担った。各団体の長所を活かしたおもてなしを実践し、そのことにより多くの観光客に来訪いただいた。								
目標を上回る									

【4. 事業の検証】

視点	評価	理由
事業の必要性	社会的要請や市民ニーズが高いものであるか A 高い B あまり高くない C 低い	A 善光寺、戸隠に次ぐ観光地として「松代」の観光のブランド力の維持向上は、地元はもちろんのこと、市においても観光振興計画で重点地域に設定するなど重要なテーマである。そのためにも観光誘客事業に係る最低限の支援は必要である。
役割の妥当性	市の関与について、見直す余地はあるか A ない B 一部ある C 大幅にある	A 地域主体となって行なう観光誘客事業への支援は、地域経済の活性化、まちづくりといった観点から市に求められる役割である。
事業の有効性	目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか A ない B 一部ある C 大幅にある	A 松代町の観光資源を洗い出し、今後も需要が見込めるコンテンツを提供できている。目標に据えた観光地利用客数も達成し、成果が現れていると言える。定着するまで同様の取り組みを継続し、実施して行くことが必要である。
方法の効率性	更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか A ない B 一部ある C 大幅にある	B 関係団体の統廃合が必要である。ただし、自主性を尊重する必要もあるため、無理強いすることはできない。せめて役割分担を明確にし、責任の所在を明確にする必要がある。また、自主財源の確保を促していく必要がある。

【5. 今後の課題・方針】

課題	補助金頼みの体質になりつつあるため、自主財源の確保を促す必要がある。また、団体補助から事業費補助への切り替え、無駄を削る努力を促す必要がある。『真田丸』の効果を一過性のものにならないよう、事務局体制を強化し、体験コンテンツやまち歩き事業等持続可能な事業に育成していく必要がある。	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	「松代観光推進機構」や「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」との協働により、地元住民を中心とした計画的な観光誘客事業の展開をはかり、観光利用客数の維持・増加を目指す。また、それら事業に対し、やる気のある観光事業者の参画を促し地域経済の活性化を促進する。

【6. 関連部局との連携・実施状況】

関連部局との連携・実施状況	連携・実施している	関連部局との連携・実施の必要性	必要性あり
文化財課、文化施設管理事務所等		文化財を活用した観光コンテンツの造成	

平成29年度 事務事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

74-3

【1. 事業の概要】

基本施策名	511	多様な観光交流の推進			担当部局	商工観光部
施策名	511-01	訪れてみたくなる地域づくり			担当課	観光振興課
事業番号	7143	事業開始年度	平成	26	年度	作成者（連絡先）
事業名	善光寺表参道誘客対策					
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ） 観光客にまち歩きの楽しさを提供し、滞在時間の延長を図るため、善光寺表参道界隈の魅力を伝えるボランティアガイドの資質や技術の向上と組織体制の確立に取り組むもの。					
	誰、何が対象なのか（対象） 観光客を受け入れる市民、長野市ガイド協会、ながの観光コンベンションビューロー、善光寺周辺へ訪れる観光客					
	どのような事業を行うのか（概要） 次の御開帳を見据え、長野市ガイド協会が観光客のニーズにあった表参道界隈の周遊コースを企画・実施する。また、同ガイド協会が主体的に運営できるよう組織体制の見直しを行う。					
	どのような成果を実現したいのか（成果、効果） 観光客の滞在時間延長により、地元商店街での購買や市内での宿泊による経済波及効果を高める。また、観光客の満足度向上によって、リピーターを獲得を図る。					
	根拠法令等					

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	特記事項
年間経費の推移	①事業費 (千円)	3,212	7,979	7,231	7,000	
	委託料	700				
	負担金補助及び交付金	2,512	7,979	7,231	7,000	
	②人件費概算 (千円)	2,175	732	732	729	
	正規職員 (人)	0.3	0.1	0.1	0.1	
	嘱託職員 (人)					
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	5,387	8,711	7,963	7,729	
	④特定財源 (千円)	0	0	0	0	
	国・県支出金					
	市債					
その他						
⑤市負担額 ③-④ (千円)	5,387	8,711	7,963	7,729		

基本施策名	511	多様な観光交流の推進	整理No.	74-3
施策名	511-01	訪れてみたくなる地域づくり	担当部局	商工観光部
事業名	善光寺表参道誘客対策		担当課	観光振興課

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度見込	
ガイド登録者数	人	目標	30	目標	30	目標	30	目標	20
		実績	36	実績	29	実績	9		
ガイド実施数	人	目標	1,000	目標	1,000	目標	1,000	目標	2,000
		実績	249	実績	4,111	実績	1,403		
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
A	<p>「NAGANO検定」合格者の中からボランティアガイドを募集している。ガイド登録者数については、「NAGANO検定」の受験者数とともに減少している。シニア大学と連携する等安定したガイドの確保に向けた取り組みを促していく。</p> <p>ガイド実施数については、御開帳効果で大きく目標を上回った平成27年度と比較すると大きく減少しているが、平成26年度と比較すると大幅に増加しており、引続き増加傾向を維持するよう取り組みを促していく。また、告知やPRについて協力を行っていく。</p>								
	目標を上回る								

【4. 事業の検証】

視点	評価	理由
事業の必要性 社会的要請や市民ニーズが高いものであるか	A 高い B あまり高くない C 低い	A 多様化する観光客のニーズへの対応、また、地域経済の活性化（滞在時間延長）に資するため、引き続き必要性が高い。
役割の妥当性 市の関与について、見直す余地はあるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 事務局体制のあり方とガイドの役割分担について試行錯誤を繰り返している状況である。自主財源を確保するには、更に組織が成熟する必要がある。依然、市が最低限の支援を行なう段階にある。
事業の有効性 目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B アンケート調査を実施する等観光客のニーズの把握に努める必要がある。また、ボランティアガイドの意見集約等を行い、課題の抽出、課題に対する対応、効果検証のサイクルを確立する必要がある。
方法の効率性 更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 観光事業者との連携を図ることにより、観光ニーズ（食や土産品の購入）にあった事業を展開する必要がある。

【5. 今後の課題・方針】

課題	ガイドの割り当て方法については、システムを導入する等効率化を図っている。また、ボランティアスタッフによる事務のサポート体制を構築する等事務の効率化は進んでいる。今後は、新コースの造成やサービスの向上、料金設定の見直し等を行い、ガイド料の増加に向けた取り組みが求められる。	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	事務体制の充実が図られつつあるため、自主財源の確保など自立に向けた体質改善を促していく。企画力やプロモーションの強化に向けた支援を継続していく。

【6. 関連部局との連携・実施状況】

関連部局との連携・実施状況	連携・実施していない	関連部局との連携・実施の必要性	必要性なし
---------------	------------	-----------------	-------

平成29年度 事務事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

74-4

【1. 事業の概要】

基本施策名	511	多様な観光交流の推進		担当部局	商工観光部
施策名	511-01	訪れてみたくなる地域づくり		担当課	観光振興課
事業番号	7027	事業開始年度		年度	作成者（連絡先）
事業名	観光まつり補助金				
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ） 本市の観光地としての知名度と魅力の向上、観光誘客、地域の活性化、まつり文化の継承などを実現するために必要な事業である。				
	誰、何が対象なのか（対象） ・ 誘客の対象として、観光まつりに訪れる観光客 ・ 補助金の交付対象として、観光まつりを実施するまつり実行委員会（地域住民）				
	どのような事業を行うのか（概要） 観光まつりの開催に要する費用の一部を補助金として交付することで、観光まつり事業の実施を支援する。				
	どのような成果を実現したいのか（成果、効果） 観光客にとって魅力ある祭りとすることで、長野市への誘客、観光地としての知名度の向上、地域の活性化及び観光客の滞在時間の延長を目指す。				
	根拠法令等				

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	特記事項
年間経費の推移	①事業費 (千円)	41,192	51,510	47,825	47,516	
	旅費					
	委託料					
	使用料					
	負担金	41,192	51,510	47,825	47,516	
	その他					
	②人件費概算 (千円)	725	732	732	729	
	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1	0.1	
	嘱託職員 (人)					
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	41,917	52,242	48,557	48,245	
	④特定財源 (千円)	0	0	0	0	
	国・県支出金					
市債						
その他						
⑤市負担額 ③-④ (千円)	41,917	52,242	48,557	48,245		

基本施策名	511	多様な観光交流の推進	整理No.	74-4
施策名	511-01	訪れてみたいくなる地域づくり	担当部局	商工観光部
事業名	観光まつり補助金		担当課	観光振興課

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度見込	
補助対象のまつりにおける集客人数	千人	目標	2,000	目標	2,000	目標	2,000	目標	1,400
		実績	1,234	実績	1,632	実績	1,559		
		目標		目標		目標		目標	
		実績		実績		実績			
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
C	各まつりの集客人数は、ほぼ横ばいである。								
目標を下回る									

【4. 事業の検証】

視点	評価	理由
事業の必要性 社会的要請や市民ニーズが高いものであるか	A 高い B あまり高くない C 低い	A 当該事業は、長野市の観光地としての知名度及び魅力の向上並びに地域の活性化を目指すものであり、各まつり実行委員会への支援の継続は必要である。
役割の妥当性 市の関与について、見直す余地はあるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	A 平成26年度に「長野市観光まつり事業補助金交付要領」を定め、補助の基準を明確にした。今後も必要に応じて市がまつりの実行委員会に対して必要な指導を行う。
事業の有効性 目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 各まつりの実行委員会に対して、まつりの運営方法等に関し、補助金に過度に頼らない一層の自助努力、自立を求めていく必要がある。
方法の効率性 更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 対象事業の中には、観光まつりだけでなく地域振興的な性格のまつりもあるが、補助金の趣旨に合うよう対外的な宣伝広告、魅力的な企画の実施等により、まつりの実施が観光誘客に繋がるよう促す必要がある。

【5. 今後の課題・方針】

課題	地域振興的な性格の強い祭り、補助金の依存度が高い祭りについては改善を促す必要がある。また、各祭りの実行委員会に対して、祭りの運営方法等に関し補助金に過度に頼らない一層の自助努力、自立を求めていく必要がある。	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	事業は継続するが、規模や集客力など、祭りごとに大きな差があり、今後の補助の在り方が課題である。改善を促す必要のある祭りについては、補助金申請時に合わせ、これまでの経過、包括外部監査の意見などを説明し、段階的な補助金の減額、他の補助制度の活用検討などにより改善を図る。 また、例外的な取扱い（市長が特に必要と認める場合）を適用するケースを明確化し、安易に規定の補助率を超えることのないよう、申請者に対し指導を行う。

【6. 関連部局との連携・実施状況】

関連部局との連携・実施状況	連携・実施している	関連部局との連携・実施の必要性	必要性あり
市民生活部		市民生活部	

平成29年度 事務事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

74-5

【1. 事業の概要】

基本施策名	511	多様な観光交流の推進			担当部局	商工観光部
施策名	511-01	訪れてみたくなる地域づくり			担当課	観光振興課
事業番号	企業会計	事業開始年度	昭和	42	年度	作成者（連絡先）
事業名	戸隠観光施設事業					
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ）					
	戸隠地区は、本市観光の中核を成す地域であり、当該施設は、四季を通じて観光客の誘致に重要な役割を担っている。また、当該地域は住民の生活基盤が観光産業に大きく依存しており、地域の雇用の創出をはじめ地域産業の活性化に大きな役割を担っている。					
	誰、何が対象なのか（対象）					
	戸隠観光施設を利用する市民及び観光客、戸隠地区観光産業従事者					
	どのような事業を行うのか（概要）					
指定管理者制度を導入し、効率的な事業運営を図る。 指定管理者及び戸隠観光協会等と連携を図り、効果的な誘客に努める。						
どのような成果を実現したいのか（成果、効果）						
本市観光の中核を成す地域の重要な観光施設として、戸隠観光施設事業の安定的な事業運営を図り、引き続き地域の安定的な雇用の維持及び地域産業の活性化を目指す。						
根拠法令等	地方公営企業法					

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	特記事項
年間経費の推移	①事業費 (千円)	223,954	257,536	245,090	269,000	④特定財源その他欄には、一般会計からの補助金及び出資金、企業債が含まれる。
	営業費用	99,284	100,607	104,562	107,911	
	営業外費用	9,886	4,101	2,885	2,490	
	建設改良費	50,890	69,498	44,000	62,400	
	企業債償還金	63,894	83,330	93,643	96,199	
	長期借入金償還金	0	0	0	0	
	②人件費概算 (千円)	0	0	0	0	
	正規職員 (人)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	嘱託職員 (人)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	臨時職員 (人)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	③事業費計 ①+② (千円)	223,954	257,536	245,090	269,000	
	④特定財源 (千円)	118,395	156,036	140,501	161,005	
	国・県支出金					
市債						
その他	118,394.8	156,036.1	140,501.1	161,005.0		
⑤市負担額 ③-④ (千円)	105,559	101,500	104,589	107,995		

基本施策名	511	多様な観光交流の推進	整理No.	74-5
施策名	511-01	訪れてみたくなる地域づくり	担当部局	商工観光部
事業名	戸隠観光施設事業		担当課	観光振興課

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度見込	
戸隠スキー場利用者数	人	目標	120,000	目標	120,000	目標	106,500	目標	106,500
		実績	106,097	実績	94,355	実績	101,601		
戸隠キャンプ場利用者数	人	目標	56,800	目標	55,100	目標	59,400	目標	56,000
		実績	48,478	実績	57,343	実績	51,845		
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
B	<p>スキー場は年末年始の雪不足により、キャンプ場は夏・秋の連休時期等の長雨の影響から目標とする利用者数に達しなかったが、概ね目標に対し90%を達成した。実績の前年度比は、スキー場が7.7%増、キャンプ場が9.6%減となった。</p>								
概ね目標どおり									

【4. 事業の検証】

視点	評価	理由
事業の必要性 社会的要請や市民ニーズが高いものであるか	A 高い B あまり高くない C 低い	A 観光産業は、地域経済に大きな影響を与えることから、当事業の必要性は高い。
役割の妥当性 市の関与について、見直す余地はあるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	C 平成30年度に指定管理期間が満了となるため、平成29年度中に指定管理者の再選定に当たり公募方法等の見直しを行う必要がある。
事業の有効性 目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 平成28年度に目標設定を見直し、実績は概ね90%を達成しているが、より安定的な事業運営を目指すため、引き続き改善、見直しを行う必要がある。
方法の効率性 更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 客単価の上昇により、収益改善が見られたが、より安定的な事業運営を目指すため、引き続き改善、見直しを行う必要がある。

【5. 今後の課題・方針】

課題	リフト券の割引率の見直し、大手エージェンツの割引券の廃止等により、スキー場利用者の客単価が上昇し、収益改善に大きく影響したところであるが、より安定的な事業運営を目指すため、更なる経営改善を求めていく必要がある。	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	戸隠地区は、宿泊施設及びそば店を中心とした飲食店等が軒を並べ、住民の生活基盤は観光への依存度が大変大きい。戸隠観光施設は、これら観光産業と密接に関係しており、地域産業に大きな影響を及ぼしているため、事業の存続が求められている。戸隠観光施設事業の経営健全化計画の平成29年度中の策定を目指し、平成30年度の指定管理者の募集方法等の見直しを行う。

【6. 関連部局との連携・実施状況】

関連部局との連携・実施状況	連携・実施している	関連部局との連携・実施の必要性	必要性あり
農業政策課、戸隠支所		農業政策課、戸隠支所	

平成29年度 事務事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

74-6

【1. 事業の概要】

基本施策名	511	多様な観光交流の推進			担当部局	商工観光部
施策名	511-03	コンベンションの誘致と観光との連携			担当課	観光振興課
事業番号	7145	事業開始年度	平成	27	年度	作成者（連絡先）
事業名	インバウンド推進事業					
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ）					
	インバウンド需要の高まりを踏まえて、旺盛な外国人観光需要を取り込み、市内における更なる観光振興を実現することにより、観光消費額を高め、産業の振興や雇用の創出を通じて地域の活性化につなげる。					
	誰、何が対象なのか（対象）					
	本市を訪れる外国人観光客及び市内の観光関連事業者					
	どのような事業を行うのか（概要）					
本市の魅力積極的に発信し、海外における旅行博覧会への出展や海外メディアの招請事業などのプロモーション活動を実施すると同時に、訪問時・滞在時に快適な観光をしていただける環境の整備や、市内事業者の外国人観光客受け入れを支援する取り組みを行う。						
どのような成果を実現したいのか（成果、効果）						
外国人観光客の観光の利便性と満足度の向上により、本市の国際的な認知度向上と観光誘客による地域経済の活性化を図る。						
根拠法令等						

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	特記事項
年間経費の推移	①事業費 (千円)	0	0	24,542	7,837	
	報償費				166	
	役務費			38		
	委託料			80	621	
	使用料				32	
	工事請負費			4,860	4,918	
	負担金			19,564	2,100	
	②人件費概算 (千円)	0	3,660	3,660	3,645	
	正規職員 (人)		0.5	0.5	0.5	
	嘱託職員 (人)					
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	0	3,660	28,202	11,482	
	④特定財源 (千円)	0	0	0	1,229	
	国・県支出金				1,229.0	
	市債					
その他						
⑤市負担額 ③-④ (千円)	0	3,660	28,202	10,253		

基本施策名	511	多様な観光交流の推進	整理No.	74-6
施策名	511-03	コンベンションの誘致と観光との連携	担当部局	商工観光部
事業名	インバウンド推進事業		担当課	観光振興課

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度見込	
外国人宿泊客数	人	目標		目標		目標		目標	61,600
		実績	51,713	実績	59,206	実績			
		目標		目標		目標		目標	
		実績		実績		実績			
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
B	<p>現在、対象国については、アセアン諸国を中心に、特に台湾、タイを重点的に海外メディア、エージェント等に対しプロモーション活動、旅行商品の企画提案を実施している。26年外国人宿泊者数の実績において、台湾が年間約2万人と一番多く、対前年比の伸び率としては、アジア圏では、中国、タイ、シンガポールを中心に、欧州では、ドイツ、フランスが増加傾向にある。</p>								
概ね目標どおり									

【4. 事業の検証】

視点	評価	理由
事業の必要性 社会的要請や市民ニーズが高いものであるか	A 高い B あまり高くない C 低い	A 外国人観光客の旅行形態は個人旅行が主流であり、様々な媒体を使い情報収集している。より多くの観光客を誘客するには、本市の魅力を様々な媒体を使い情報発信するとともに、受入環境の整備を進める必要がある。
役割の妥当性 市の関与について、見直す余地はあるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 海外に対し行うPRは、国や県、他自治体と連携し広域で行うことが効果的ではあるが、旅行商品造成にあつては、民間ベースに乗るまでの間、市が関与することは妥当である。
事業の有効性 目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 外国人観光客が求めるものが多様化している現状において、より興味を持ってもらえる魅力的な観光コンテンツの情報発信が必要になる。
方法の効率性 更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 外国人観光客のニーズが多様化している現状において、様々な角度からの観光PRが必要となるため、キャンペーンの手法についても見直す必要がある。

【5. 今後の課題・方針】

課題	人口減少や余暇活動の多様化により日本人観光客数がやや減少傾向にあり、観光を取り巻く環境が大きく変化していくなか、市民や市外の人に加え外国人観光客に対し、本市の魅力をこれまで以上に発信し、受入環境環境の整備等を進めていく必要がある。	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	今後、インバウンドの誘客は地域の活性化を図るうえで重要な施策と位置づけられることから、海外に向けた積極的なプロモーション活動を実施すると同時に、訪問時・滞在時に快適な観光をしていただける環境の整備や、市内事業者の外国人観光客受け入れを支援する取り組みなどを実施していく。

【6. 関連部局との連携・実施状況】

関連部局との連携・実施状況	関連部局との連携・実施の必要性